



地域包括支援センターを開設

市では、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活が送れるように、介護が必要な方だけでなく、地域の高齢者やその家族を総合的に支援する地域包括支援センターを開設しました。ぜひご利用ください。

地域包括支援センターの役割

地域包括支援センターは、介護保険の制度改革で創設され、高齢介護課に開設しました。センターは、保健医療の向上と福祉の増進を包括的に支援することを目的に設置し、地域住民の心身の健康の保持

や生活の安定のために必要な援助を行い、高齢者や家族に対して総合的な相談支援を行う機関です。

新たに介護・福祉・保健の

専門職を配置

総合的な相談支援を行うために、社会福祉士、主任介護支援専門

● 下奥富運動公園がオープン

6月1日、入間川大橋(新狭山柏原線)の上流、奥富地区河川敷に下奥富運動公園がオープンします。この運動公園は、野球場1面、ソフトボール場2面、サッカー場(少年サッカー規模)1面があります。利用申込は、他の施設と同じく2か月前からで、6・7月分は、6月1日から申込順で受け付けます。利用料金は無料です。



皆さん、ぜひご利用ください。

問合せ公園管理事務所へ 2953-5111

● 雇用情報を提供するサイト

「茶レンジ」OBさやま」が6月スタート

市では、求人を希望する企業と職を求めている市民との出会いの場を無料で提供する就労支援サイト「茶レンジ」OBさやま」を6月1日にスタートします。市内と近隣の事業者の求人情報を提供し、市の公式ホームページや公式モバイルサイトからアクセスできます。また、就労関連の各種情報もご案内しますので、ぜひご利用ください。

問合せ商工課へ内線2554

● 地域と行政が連携し

児童の見守り活動が活発

市では、昨年度に引き続き、4月10日から5月31日までの間、保護者の不安を軽減し、子どもたちの安全確保と市民の防犯意識の啓発を目的に、通学路周辺のパトロールを小学校の下校時刻に合わせて行っています。



また、地域の防犯や生活安全、青少年の健全育成を進める地域防犯ネットワーク(通称アポック)が各地区で設立され、活発な取り組みがされる中、東急自治会で、新たに「下校児童を見守る会」が発足し、4月12日に活動を開始しました。

問合せ教育指導課へ内線5652

市長随想 姪

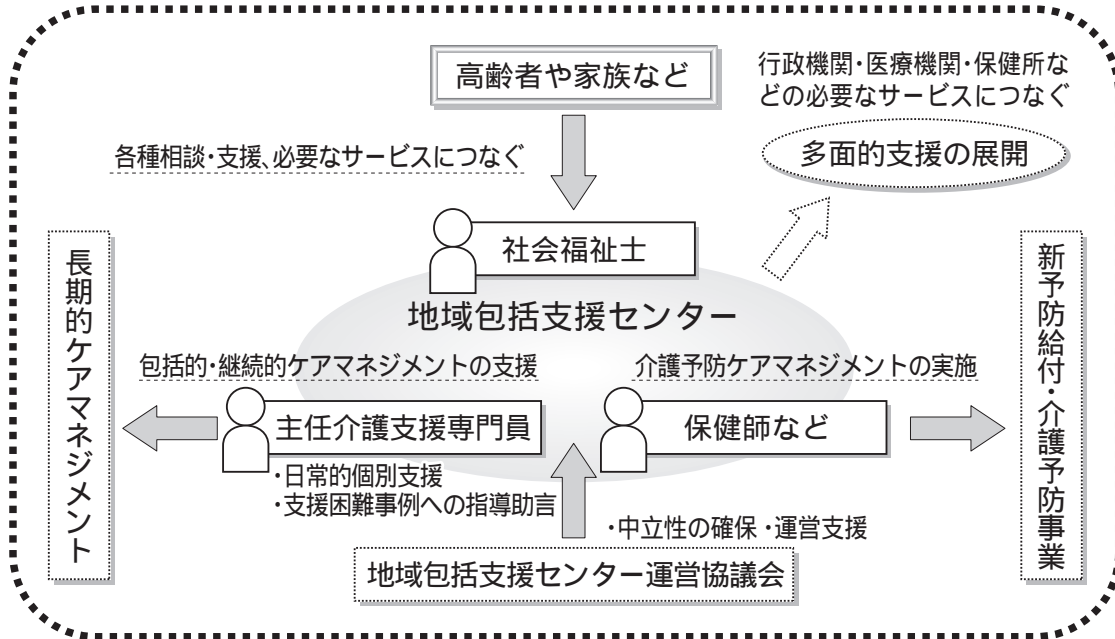


狭山市長 仲川幸成
似顔絵・池原昭治氏

市政は歴史と地理の 接点から始まる

狭山市は、昔から母なる川である入間川の恩恵を受けながら、今日に至りました。メタセコイヤやアケボノソウの生息、左右岸に広がる美田を潤す用水、戦国時代の要塞、西川材の運搬水路、河岸の織物、砂利の供給。その時代その時代に合った入間川の使命と姿が、次から次へと浮

地域包括支援センターのイメージ図



員、保健師などを配置し、それぞれが一体となって、地域で暮らす高齢者を支援していきます。

地域包括支援センター

4つの基本機能

介護予防マネジメント

介護保険に該当しない高齢者などに、介護予防プランを作成し、介護予防事業などを利用しながら自立した生活ができるように支援します。また、「要支援1・2」の方にも介護予防プランを作成し、介護予防サービス(新予防給付)を利用しながら、要介護状態にならないように、また、悪化しないように支援します。

総合的な相談・支援

高齢者や家族からの相談に、介護保険以外のサービスも含め多面的な支援を行います。相談内容に応じて専門的な相談機関への紹介や必要なサービス、制度が利用できるよう支援します。

権利擁護事業

高齢者の人権・財産を守る権利擁護事業や成年後見制度の活用を促進し、高齢者に対する虐待の早期発見・防止に取り組みます。

包括的・継続的なマネジメント

介護支援専門員への日常的個別指導・助言やネットワーク作りを行います。また、困難と思われる事例に対して、助言などを行います。

19年度以降 日常生活圏域

5か所にセンターを設置

今年度は、高齢介護課内に地域包括支援センターを設置しました。平成19年度以降は、在宅介護支援センターを運営する法人に委託して、市内の日常生活圏域5か所に設置します。なお在宅介護支援センターは、引き続き地域の総合相談窓口として、ご利用いただけます。

日常生活圏域

沢、狭山、祇園、入間川1～4丁目、鶴ノ木、稻荷山地区
中央、富士見、狭山台、入間川地番地区
入間地区
堀兼、奥富、新狭山地区
柏原、水富地区

公正・中立性を確保した

センターの運営

介護保険サービスの関係者や利用者、医師、民生・児童委員などで構成する運営協議会を設置し、地域包括支援センターの公正・中立性の確保とセンターの円滑かつ適正な運営を図っていきます。

問合せ高齢介護課へ

内線1572

市長の主な動き



- 4/3...辞令交付式、新規採用職員研修市長講話
- 4/4...固定資産評価審査委員会委員辞令交付式
- 4/5...市民相談員委嘱状交付式
- 4/6...春の全国交通安全運動出陣式、狭山シニア・コミュニティ・カレッジ入学式
- 4/10...市立小学校入学式
- 4/11～14...登校交通安全指導
- 4/14...埼玉県市長会定期総会
- 4/19...都市計画審議会
- 4/21...住宅協会理事会
- 4/25...住宅協会評議員会
- 4/29...狭山新茶と花いっぱいまつり

かんでまいります。

昨今の入間川に求められているものは、健康の維持増進や心の癒しなどと思われれます。

笹井、下広瀬、鶴ノ木、柏原、上奥富地先に広がる河川敷公園は、運動広場や児童公園、散策、ジョギング、自転車道、観桜など、市民に元気を与えてくれる空間です。その面積は、小学校20校分の敷地に匹敵しています。

ここで新たに、2校分4万㎡を野球、サッカー、ソフトボール場として整備し、下奥富運動公園として供用いたします。

運営を市の体育協会にお願いしたこの公園で、先日キツネを見かけました。棲家は、多少狭まってしまうでしょうが、草むらから元気な狭山の子ども達を見守ってほしいと願います。